

環境調査結果のお知らせ

令和元年6月20日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温22～25℃、塩分32～35、溶存酸素量7～9mg/lでした。
透明度は4～6mで、有害種のケラチウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温22.3～24.6℃、塩分31.6～34.5でした。
前回調査時(R1.6.6)と比較して、水温は全層で0.8～1.3℃上昇しました。塩分は表層から5m層で0.1～0.7下降し、10m層から底層で0.1～0.3上昇しました。

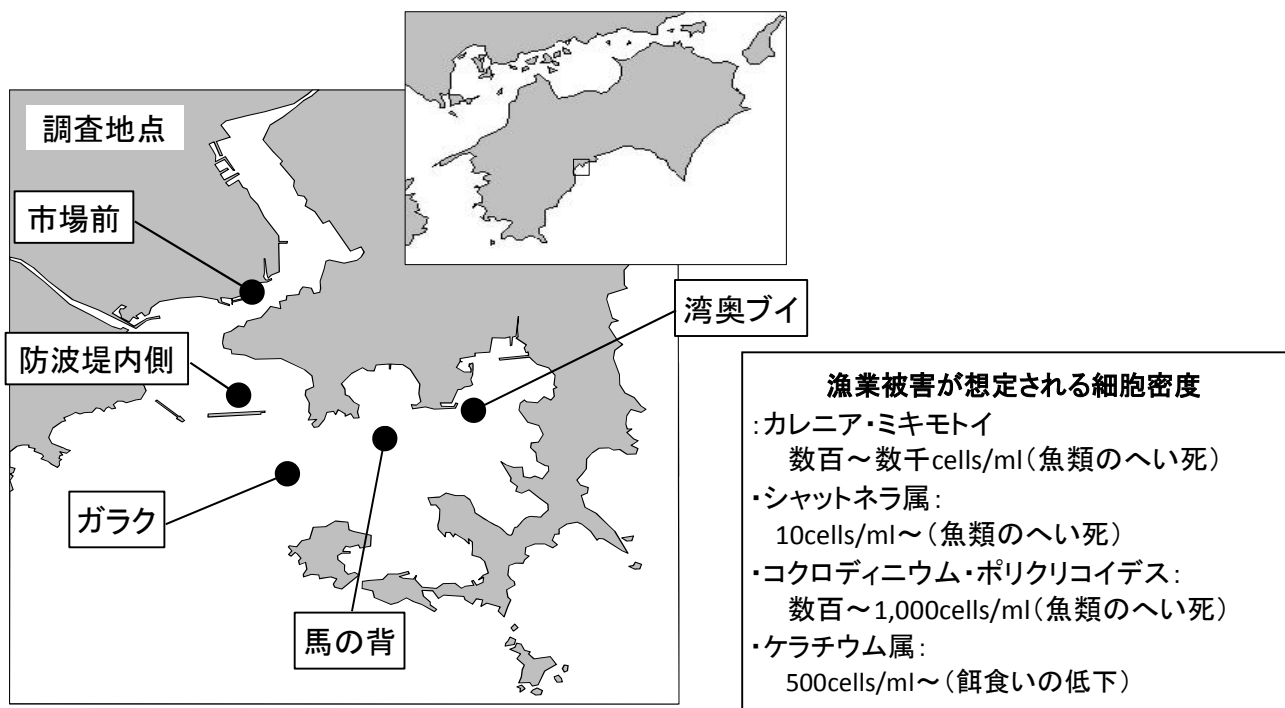
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.6～8.8mg/lでした。
前回調査時(R1.6.6)と比較して、表層から2m層で0.1～0.4mg/l増加し、5m層から底層で0.1～0.3mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.0～5.6mでした。
検鏡の結果、有害種のケラチウム属が最高で2cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。



令和元年6月20日

表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.6.6)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	24.4	24.6	24.6	24.5	24.5	23.7	0.8	24.6
2m	24.3	24.2	24.1	24.2	24.2	23.3	0.9	24.4
5m	23.7	23.5	23.7	23.8	23.6	22.8	0.8	23.6
10m	23.3	23.3	23.3	23.2	23.3	22.0	1.3	—
B-1m	22.9	22.3	23.3	23.1	22.8	21.5	1.3	23.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.6.6)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.5	33.3	33.3	31.6	33.0	33.7	▲ 0.7	29.2
2m	32.7	33.6	33.6	33.1	33.3	33.8	▲ 0.5	32.1
5m	33.4	34.1	34.1	33.5	33.8	33.9	▲ 0.1	33.7
10m	34.4	34.3	34.4	34.3	34.4	34.1	0.3	—
B-1m	34.4	34.5	34.5	34.4	34.5	34.4	0.1	34.1

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.6.6)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.4	8.5	8.3	8.6	8.4	8.0	0.4	9.0
2m	8.8	8.1	7.9	8.5	8.2	8.1	0.1	8.8
5m	8.1	7.2	7.5	8.0	7.6	7.8	▲ 0.2	7.7
10m	7.4	7.2	7.5	7.0	7.4	7.5	▲ 0.1	—
B-1m	6.6	6.9	7.5	7.1	7.0	7.3	▲ 0.3	7.3

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.1	24.3	15.6	16.1	11.0
透明度	4.0	4.0	5.6	4.6	3.0
前回(6/6)	5.0	4.0	3.5	4.5	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ケラチウム属	珪藻類
		湾奥ブイ	0m	0	0	0
	2m	0	0	0	1	180
	5m	0	0	0	2	80
馬の背	0m	0	0	0	0	65
	2m	0	0	0	1	95
	5m	0	0	0	2	120
ガラク	0m	0	0	0	0	40
	2m	0	0	0	0	90
	5m	0	0	0	0	220
津波防波堤内側	0m	0	0	0	0	130
	2m	0	0	0	1	350
	5m	0	0	0	0	190
市場前	0m	0	0	0	0	45
	2m	0	0	0	0	50
	5m	0	0	0	0	90